

曾根小だより



発行：新潟市立曾根小学校

新潟市西蒲区曾根 750 (〒959-0422)

Tel.0256-88-3128 (代) Fax.0256-88-3129

E-mail:e803daikan@city-niigata.ed.jp

特別号 (学校評価のお知らせ)

HP <http://www.nishikawa-sone-e.city-niigata.ed.jp/>

令和3年度 学校評価最終報告

日頃より当校の教育活動に御理解と御協力をいただきありがとうございます。新型コロナウイルス感染症への対応で、教育活動、PTA活動に様々な制約がある中、保護者・地域の皆様の御協力により無事、年度末を迎えることができました。

さて、当校は、学校教育目標「ともに かがやく」のもと「自ら学ぶ意欲に支えられた学力の向上を図る(授業改善)」「かかわりや交流を通して社会性を育てる(心の教育)」「ユニバーサルデザインに基づく基礎的環境整備と授業づくりを進める(特別支援教育)」「運動や食育を通して健康な体づくりをめざす(体力の向上)」の4つを重点目標として教育活動に取り組みました。令和3年度の学校評価の最終報告をお知らせいたします。

1 令和3年度の学校評価最終(後期)

| | 評価項目 | 評価 | |
|--------------|---|----|--------------|
| 授業改善 学力向上 | ① 考え表出の場で、自分の考えを表現している児童の割合が80%以上。(※児童アンケート「授業中、進んで発表したり、友だちに考えを伝えたりしている」「タブレット(iPad)を使った授業で、自分の考えを発表したり、友だちの考えを見聞きしたりすることができる」の合計) A 80%以上 B 50%以上～80%未満 C Bに至らない | A | 87.4% |
| | ② 職員内部評価「日々の授業で3つのつながり(既習事項・仲間の意見・生活とのつながり)を意識して授業改善に取り組んでいる」で、7学級以上が総合A評価となる。 A 7学級以上 B 4～6学級 C Bに至らない | A | 8学級 87.5% |
| 心の教育 生徒指導 | ① 自己肯定感・自己有用感について、肯定的な評価をしている児童が80%以上。(※児童アンケート「自分にはよいところがある」「やっていることを先生や友だちに認められて、嬉しいと感じることがよくある」の合計) A 80%以上 B 50%以上～80%未満 C Bに至らない | A | 92.4% |
| | ② いじめやトラブルの解決が100%となる。 A 100%以上 B 80%以上～100%未満 C Bに至らない | A | 100.0% |
| 特別支援 教育 | ① ユニバーサルデザインチェックシートを作成し、各学級の達成率が85%以上となる。 A 85%以上 B 70%以上～85%未満 C Bに至らない | A | 98.0% |
| | ② 「個別の指導計画」の見直しと情報交換及び共通行動を年2回行う。 A 年2回以上 B 1回 C Bに至らない | A | 2回以上 実施 |
| 体力向上 | ① 「運動が好きだ」という児童の割合が80%以上になる。 A 80%以上 B 70%以上～80%未満 C Bに至らない | A | 89.4% |
| | ② 治癒達成率が80%以上になる。 A 80%以上 B 70%以上～80%未満 C Bに至らない | B | 77.9% |

- ◎ 各評価項目（目標）に対しての達成度はご覧のとおりです。A評価の項目は、さらに高めるために方策を立てます。B評価の項目は、その要因を明確にし改善策を立てます。次年度以降も子どもたちが、すべての面で向上していけるように、職員一丸となって取り組んでまいります。

2 分析及び改善策について

| | |
|----------------------|--|
| 授業改善 学力向上 | <p>① 前期はB評価でしたが、前期から継続して教職員向けのICT活用研修を進め、授業者のICTスキルが向上したこと、また、かかわり合いやつながりを重視した授業研究を全校体制で進めたことなどから、後期は10ポイント近い改善が見られました。</p> <p>② 算数や特別の教科道徳など教科を絞り、生活場面とのつながりを意識した授業研修を進めたこと、また、子どもたちが学習で得た知識・技能を他の教科や教育活動の中で活用する場を意識的に設けたことなど、教員の意識改革が進んできたことが改善につながりました。</p> <p>令和4年度は、GIGAスクール導入2年目となります。授業を含む学校の教育活動や家庭学習でタブレット端末が、あたりまえに存在する状態になります。タブレット端末を含めたICTのより有効な活用方法を探りながら、「主体的、対話的で深い学び」のある授業の実践を進め、子どもたちの学びの質を高める努力をしていきます。</p> |
| 心の教育 生徒指導 | <p>① 全校的に自己肯定感・自己有用感の高い子どもが多く、心の安定した児童が多くなってきています。児童同士で互いのよさを見つけ合ったり、伝え合ったりする場が全校に広がりつつあること、また保護者・地域の皆様から多くの協力を得られていることが要因としてあげられます。</p> <p>② いじめやトラブルには、全校体制で取り組んでいます。これからも、この体制を維持するとともに、各種アンケート調査や教育相談を活用して、いじめ・トラブルの芽を早期に摘むようにしていきます。また、特別の教科道徳をはじめ、日々の教育活動を通して、「心の教育」を進め、いじめのない学校づくりを進めます。</p> <p>自己肯定感の高い子どもの割合は高いですが、その反面、一定数自己肯定感が低いままの子どもがいます。次年度は、自己肯定感の低い児童に焦点を当て、その原因を取り除いていく取組をしていきます。また、今年度、新型コロナウイルス対応のために、あまりできなかった「縦割り活動（異学年交流）」を感染状況を見ながら復活させ、子どもたちの心の成長をはかっていきます。</p> |
| 特別支援 教育 | <p>① 教室環境やUD化によって学びやすい環境を整えています。さらに、すべての子どもが学びやすい環境となるよう授業や教材のUD化を進めていきます。</p> <p>② 全教職員が支援の必要な子どもへの対応ができるように、児童理解の会を定期的開催し、支援の具体を共通理解する機会を拡充してきました。今後は、家庭との連携を深めながら、困難を感じている子どもへ、しっかりと寄り添うようにしていきます。</p> |
| 体力向上 | <p>① 体を動かすことの好きな子どもたちが多く、運動への苦手意識から、体を動かすことの嫌いな子どもが10%程度存在することが分かりました。楽しみながら運動に取り組めるよう、体育授業の改善に努めていきます。</p> <p>② 齲歯や耳鼻科・眼科系の疾患については、御家庭の御理解とご協力をいただきながら、治癒率を高めていきたいと考えております。保健だよりなどで、早期治療の意義なども伝えていきたいと考えています。御協力よろしくお願いたします。</p> |

- ◎ 前期学校評価の詳細なデータ（児童アンケート及び保護者アンケートの集計）は、曾根小学校のホームページにも掲載しております。あわせて御覧ください。

新潟市立曾根小学校ホームページ

<http://www.nisihikawa-sone-e.city-niigata.ed.jp/>

※ 裏面に、保護者アンケートの御意見一覧を掲載いたしました。アンケートへの御協力たいへんありがとうございました。